

休日在宅当番医のご案内 (診療時間 9:00~17:00)

【凡例】(内)…内科、(小)…小児科、(外)…外科、(整)…整形外科、(リ)…リハビリテーション科、(耳)…耳鼻咽喉科、(胃)…胃腸科、(胃内)…胃腸内科、(消)…消化器科、(消内)…消化器内科、(消外)…消化器外科、(循)…循環器科、(循内)…循環器内科、(糖内)…糖尿病内科、(呼)…呼吸器科、(皮)…皮膚科、(脳)…脳神経外科、(神)…神経内科、(泌)…泌尿器科、(眼)…眼科、(産)…産婦人科、(ア)…アレルギー科、(総)…総合診療科、(放)…放射線科

9月3日 (日)	飯塚市相田262-3 林医院 (内)(小)(呼)(胃) 0948-22-5333	飯塚市伊岐須847-5 石橋外科内科医院 (内)(胃)(外)(整) 0948-23-0400	飯塚市伊岐須298-6 木原眼科医院 (眼) 0948-25-1319	嘉穂郡桂川町土師28 石田病院 (内) 0948-62-2788	嘉麻市鴨生651-4 平野医院 (内)(小)(ア) 0948-42-1125
9月10日 (日)	飯塚市川津84-1 ひじい小児科 クリニック(小) 0948-21-6661	飯塚市伊岐須298-10 大庭クリニック (内) 0948-25-5678	飯塚市枝園長浦666-48 前田眼科クリニック (眼) 0948-43-3558	嘉穂郡桂川町土居1270-10 内田外科内科医院 (内) 0948-65-2121	嘉麻市鴨生532 西野医院 (内)(外) 0948-42-1114
9月17日 (日)	飯塚市吉原町537 いづかこども 診療所(小) 0948-80-5630	飯塚市吉原町6-1 小川内科・循環器内科 (内)(循) 0948-22-2010	飯塚市菟田東2-3-30 下津眼科医院 (眼) 0948-22-2221	飯塚市長尾884-22 内野内科クリニック (内) 0948-52-6600	嘉麻市上山田431-10 松井医院 (内) 0948-52-0465
9月18日 (月・祝)	飯塚市鯉田1772 細川小児科内科医院 (小) 0948-22-1088	飯塚市宮町1-8 梶原クリニック (脳)(内) 0948-24-2312	飯塚市菟田西1-4-22 すどうクリニック (産) 0948-22-2347	飯塚市枝園長浦666-48 前田眼科クリニック (眼) 0948-43-3558	嘉麻市上山田1287 松岡病院 (内) 0948-52-1105
9月23日 (土・祝)	飯塚市潤野855 二宮医院 (内)(小) 0948-22-3272	飯塚市有井355-12 兼田循環器内科医院 (内)(循) 0948-82-3456	飯塚市吉原町10-6 青山外科医院 (外)(整) 0948-22-0212	飯塚市天道415-1 田中医院 (内)(小) 0948-22-1850	嘉麻市飯田157 吉國医院 (小) 0948-62-2074
9月24日 (日)	飯塚市鯉田2517-201 弥永内科小児科医院 (内)(小) 0948-24-8680	飯塚市横田770-3 共立病院 (内) 0948-22-0725	飯塚市菟田西1-5-4 たかた皮ふ科医院 (皮) 0948-21-3345	飯塚市楽市310-14 庄田整形外科 (整) 0948-30-1520	嘉麻市大隈町1118-3 吉原医院 (内)(外) 0948-57-0355

医療機関、診療科等が変更となったり、やむを得ず休診となる場合がありますので、当日の新聞紙面もしくは医療機関への連絡など、今一度ご確認をお願いします。

医療あれこれ

テーマ：医薬品の不足問題について

ようやく新型コロナウイルス感染症も落ち着き、平常を取り戻しつつある医療現場。しかしながら、未だに薬剤師が頭を抱えている問題があります。それは医薬品の供給不足です。

事の発端は2020年末に起きたジェネリック医薬品メーカーの不正です。水虫などの治療薬に睡眠導入剤の成分混入という、医薬品への信頼を覆す重大事態が発覚しました。それ以降、全国的に製薬会社の調査を強化し、立ち入り検査や自主点検が行われました。その結果、各地の他のメーカーにおいても製造工程の問題が指摘され、業務停止命令などの行政処分が相次ぎました。これにより出荷が止まり、そのしわ寄せが他社にも影響し、連鎖的に必要な薬が十分に入らない、という状況がこの数年続いているのです。

更に、新型コロナウイルス感染症の治療で需要が急増した、解熱鎮痛剤、抗炎症剤、去痰剤などの在庫不足も相まって、現在では、医薬品全体の3割近くに影響が及んでいます。

今や当たり前前に使用されているジェネリック医薬品ですが、その多数が不足状態に陥り、当院でも毎日のように各メーカーや医薬品卸業者から欠品のお知らせが届きます。しかも、この状態はあと1年以上続くだろうともいわれ

ています。

患者さんへ必要なお薬を確保し、提供することは我々薬剤師の責務です。他のメーカーへの切り替えなど代替品を探しますが、その代替品すらない状態が続いています。せっかく先発品からジェネリック医薬品への切り替えに慣れてきた患者さんに、また形状などの異なる薬への切り替え、処方制限、再び先発品へ戻すなどの対応に納得していただくしかありません。

病院薬剤師、調剤薬局薬剤師は、このような医薬品不足の状況の中、共に医薬品の安定確保のために、情報を把握し、調整、切り替えを行い、医師やスタッフ、そして患者さんへの説明を行っています。

どうか、今しばらく続くこの状況をご理解いただき、お薬についてのご質問などがありましたら、遠慮なく薬剤師にご相談ください。

飯塚市立病院よりお願い

はじめて当院を受診される方は、かかりつけ医より紹介状を持参していただくようお願いいたします。



飯塚市立病院
薬剤室

主任薬剤師

さたけ かおり
佐竹 香織